

令和4年度事業の概要

自 令和4年4月 1日

至 令和5年3月31日

1 庶務の概要

(1) 主な会議, 行事等

月 日	事 項	場 所
4. 1	事務局長等辞令交付	栽培漁業センター
4. 13	県水産部局事業説明会 (web)	栽培漁業センター
4. 14	令和4年度事業に係る県打合せ (web)	栽培漁業センター
4. 20	令和4年度栽培漁業協会事業検討会 (web)	栽培漁業センター
4. 25	第28回評議員会 (みなし決議)	栽培漁業センター
4. 26	令和3年度決算に係る打合せ	岡野税理士事務所
5. 9	監事監査	栽培漁業センター
5. 16	第30回理事会	すいさん会館
5. 16	茨城県遊漁船協議会通常総会	すいさん会館
5. 27	茨城県漁港協会通常総会	すいさん会館
5. 31	第29回評議員会	すいさん会館
6. 1	茨城県公社等連絡協議会代表者会議	開発公社ビル
6. 9	神奈川県水産技術センター視察	栽培漁業センター
7. 26	出資法人等監督基準実地検査 (県)	栽培漁業センター
7. 27	第30回評議員会 (みなし決議)	栽培漁業センター
7. 28	いばらきの養殖産業創出に向けたプレミーティング	栽培漁業センター
7. 29	栽培漁業推進協議会	すいさん会館
8. 1	出資法人等経営評価ヒアリング	県庁
8. 3	ひらめ寄附金受領	栽培漁業センター
8. 30	県庁インターンシップ実習生視察	栽培漁業センター
10. 4	海外漁業協力財団研修生視察	栽培漁業センター
10. 4	茨城県漁港漁場役職員会議	ホテルレイクビュー水戸
10. 26	ICT養殖実証事業に係るキックオフミーティング	三の丸庁舎
10. 25~27	栽培漁業若手研修会	水産技術研究所宮古庁舎
11. 7	ICT養殖推進協議会設立総会 (書面)	栽培漁業センター
11. 7	漁港漁場中央要望	衆・参議院会館
11. 12~13	全国豊かな海づくり大会	兵庫県明石市
11. 17	関東・東海水産関係公益法人連絡協議会 (web)	栽培漁業センター
11. 14~15	ICT養殖実証事業に係る現地研修会	海洋高校、那珂湊漁港
11. 28	定年延長に係る説明会	ザ・ヒロサワ・シティ会館
12. 14	監事監査	すいさん会館
12. 19	ひらめ寄附金受領	栽培漁業センター
12. 26	茨城県高校教育研究会水産部会視察	栽培漁業センター
1. 12	消防訓練	栽培漁業センター
1. 13	モーリタニア漁業・海洋経済大臣一行視察	栽培漁業センター

1. 16	職員研修	栽培漁業センター
1. 30	パート職員研修	栽培漁業センター
2. 1	茨城県漁業関係者新春交流会	ホテルレイクビュー
2. 2	I C T養殖実証事業に係る第1回定期報告会	ひたちなか市漁村センター
2. 8	市町・水産団体職員養殖施設視察会	栽培漁業センター
2. 13	ひらめ寄附金受領	栽培漁業センター
2. 14	栽培漁業寄附金受領	栽培漁業センター
3. 10	茨城県立海洋高等学校視察	栽培漁業センター
3. 17	経理に関する税理士相談	栽培漁業センター
3. 23	第31回理事会	すいさん会館

2 登記事務の執行状況

登記年月日	登記事項
令和4年4月25日	評議員・理事・代表理事の辞任及び補欠評議員・補欠理事の就任に伴う変更登記
令和4年5月25日	代表理事（理事長）選定に伴う変更登記
令和4年7月27日	評議員の辞任及び補欠評議員の就任に伴う変更登記

3 評議員・役員・職員（令和5年3月31日現在）

評議員・役員					職員		
区分		現在数	備考	区分	現在数	備考	
評議員		11名		事務局長	1		
				主任（総務）	1		
				センター長兼魚類科長	1		
				係長	1		
				技師	2		
役員	理事	理事長	1名	常勤	貝類科長	1	
		副理事長	1名		係長	1	
		専務理事	1名		主任	1	
		理事	12名				
		小計	15名			小計	9名
職員	監事		3名		普及啓発指導員	1	
					種苗生産員	2	
					養殖相談員	1	
					生産支援員	6	
					総務支援員	1	
計		18名		小計	11名		
合計		29名		合計	20名		

4 理事会・評議員会に関する事項
理事会

<p>第30回</p>	<p>令和4年5月16日 場所：すいさん会館 議長： 吉田彰宏副理事長 青木雅志理事長</p>	<p>議 事 (1) 報告事項 ① 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告について ② 令和3年度出資法人等経営評価について (2) 議 案 第1号議案 辞任に伴う理事長選定に関する件 (青木雅志理事を理事長に選定) 第2号議案 令和3年度事業報告及び決算に関する件 (原案承認) 第3号議案 令和4年度収支予算の補正に関する件 (原案承認) 第4号議案 次期中期経営計画(令和4年度～令和8年度)の策定に関する件 (原案承認) 第5号議案 定期異動に伴う栽培漁業推進協議会委員の選任に関する件 (原案承認) 第6号議案 定時評議員会招集及び評議員会に付議すべき事項の決定に関する件 (原案承認)</p>
<p>第31回</p>	<p>令和5年3月23日 場所：すいさん会館 議長：青木雅志理事長</p>	<p>議 事 (1) 報告事項 ① 代表理事及び業務執行理事の主要事務の執行状況について ② 令和4年度の種苗生産及び放流実績(中間報告)について ③ パートタイム職員就業規則の一部改正について (2) 議 案 第1号議案 令和4年度収支予算の補正に関する件 (原案承認) 第2号議案 令和5年度負担金及び徴収方法に関する件 (原案承認) 第3号議案 令和5年度事業計画及び収支予算に関する件 (原案承認) 第4号議案 公益財団法人茨城県栽培漁業協会の事務局長の任用に関する件 (原案承認)</p>

評議員会

<p>第28回</p>	<p>令和4年4月25日 (みなし決議) 提案者：中村丈夫理事</p>	<p>提案1 根崎良文氏（前茨城県農林水産部長）の補欠評議員として現茨城県農林水産部長の上野昌文氏を選任すること（原案承認） 提案2 青木雅志氏（前茨城県農林水産部水産振興課長）の補欠評議員として現茨城県農林水産部水産振興課長の川野邊誠氏を選任すること（原案承認） 提案3 土屋圭巳氏（前茨城県農林水産部次長兼漁政課長）の補欠理事として現茨城県農林水産部次長兼漁政課長の青木雅志氏を選任すること（原案承認） 提案4 井坂健一氏（前ひたちなか市経済環境部長）の補欠理事として現ひたちなか市経済環境部長の齋藤茂夫氏を選任すること（原案承認） 提案5 田向晴美氏（前神栖市波崎総合支所長）の補欠理事とし現神栖市波崎総合支所長の比嘉年美氏を選任すること（原案承認） 提案6 小野瀬恵庸氏（前日本漁船保険組合茨城県支所長）の補欠理事として現日本漁船保険組合茨城県支所長の川俣賢氏を選任すること（原案承認） 提案7 上記提案を可決する旨の評議員会の決議があったものとみなされる日を、令和4年4月25日とすること（原案承認）</p>
<p>第29回</p>	<p>令和4年5月31日 場所：すいさん会館 議長：上野昌文評議員</p>	<p>議 事 (1) 報告事項 ① 令和3年度事業報告について ② 次期中期経営計画（令和4年度～令和8年度）について ③ 令和3年度出資法人等経営評価について (2) 議 案 第1号議案 令和3年度貸借対照表の承認に関する件（原案承認） 第2号議案 令和3年度正味財産増減計算書の承認に関する件（原案承認） 第3号議案 令和3年度財産目録の承認に関する件（原案承認）</p>

第30回	令和4年7月27日 (みなし決議) 提案者：中村丈夫理事	提案1 市村修氏（前鹿嶋市副市長）の補欠評議員として現鹿嶋市副市長の栗林裕氏を選任すること (原案承認) 提案2 上記提案を可決する旨の評議員会の決議があったものとみなされる日を、令和4年7月27日とすること (原案承認)
------	------------------------------------	--

5 事業の概要

令和4年度は次の各事業を実施しました。

- 1) ヒラメの種苗生産・放流及び放流効果調査等を行うヒラメ資源増大パイロット事業
(補助事業)
- 2) アワビの種苗生産・配付を行う放流用種苗生産事業（受託事業）
- 3) アユの種苗生産・配付を行う配付用種苗生産事業（受託事業）
- 4) 鹿島灘はまぐりの種苗量産技術開発事業（受託事業）
- 5) マコガレイの種苗量産技術開発事業（受託事業）
- 6) ホシガレイの新規種苗生産基礎技術開発事業（受託事業）
- 7) ムラサキウニの新規種苗生産基礎技術開発事業（受託事業）
- 8) 種苗の管理や放流方法等について指導・助言を行う放流指導事業（受託事業）
- 9) 茨城県栽培漁業センターの施設、設備の維持管理を行う栽培漁業センター保守管理事業
(受託事業)
- 10) 小学生等の見学者への対応、全国豊かな海づくり大会への参加、機関誌「茨城さいばいだより」の発行などを行う栽培漁業普及事業
(協会単独事業、ただし、普及啓発指導員の配置は受託事業)
- 11) マサバの養殖技術開発及び養殖相談に対応する養殖産業創出事業（受託事業）

各事業の実績は、次のとおりです。

(1) ヒラメ資源増大パイロット事業

漁業者や遊漁船業者の負担金等のほか、県の補助金の交付を受けて、ヒラメの種苗生産・放流を行うとともに、放流効果を把握するため、水揚げされたヒラメの市場調査を漁協に委託して実施しました。

① ヒラメ種苗生産・放流

次表のとおり、100mmサイズまでの種苗生産を当栽培漁業センターで行い、関係漁協の協力を得て、それぞれの地先海面に放流しました。

魚種名	生産計画	生産実績	備考
ヒラメ	100mm 850千尾	118mm 1,158千尾	<ul style="list-style-type: none"> ・8/2～10/20 県内海域へ放流（全27回） ・自前養成親魚から十分な受精卵が得られなかったため、山形県から受精卵を確保すると共に、初期減耗が激しい卵から40日前後の時期に紫外線殺菌水で飼育した結果、昨年より30mmまでの生残率が向上した。 ・安定生産に向け、良質な受精卵の確保を図る。

② 放流効果把握調査

ヒラメの放流効果を把握するため、県内産地市場の9漁協に委託して、漁業種類毎に漁獲されたヒラメの全長や数量等の測定と、そのうちの放流魚の一部に見られる体色異常魚の尾数等を調査しました。調査尾数は80,770尾で、このうち体色斑から放流魚と確認されたヒラメは8,251尾で、その混入率は10.22%でした。

(2) 水産種苗生産技術開発事業及び放流指導事業

① 放流用種苗生産事業（アワビ）

県の委託を受けて、アワビ種苗を次表のとおり生産し、県の指示により配付しました。

魚種名	生産計画	生産実績	備考
アワビ	35mm 240千個	35mm 309.5千個	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度放流用 ・6/21～8/26に県内漁協等へ配付した。
	35mm 240千個	40mm～30mm 281千個	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度放流用 ・サイズ・数量は令和5年3月末の測定値
	35mm 240千個	25mm～5mm 304千個	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度放流用 ・サイズ・数量は令和5年3月末の測定値

② 配付用種苗生産事業（アユ）

県の委託を受けて、アユ親魚用種苗を次表のとおり生産しました。

魚種名	生産計画	生産実績	備考
アユ	(計画) 種苗生産 70mm 200千尾 (変更) 親魚用種苗 70mm 2千尾	49.0～65.0mm 2.4千尾	<ul style="list-style-type: none"> ・継代が進んだ霞ヶ浦産アユ（F7）の親魚を入れ替えるため、久慈川産アユ（F1）の親魚用種苗の生産を行った。 ・今後、閉鎖循環システム（淡水）において親魚養成を行う。

③ 種苗量産技術開発事業（鹿島灘はまぐり）

県の委託を受けて、次表のとおり、鹿島灘はまぐりの種苗量産技術開発および親貝早期成熟技術開発等を行いました。

魚種名	技術開発規模 (計画)	技術開発規模 (実績)	備考
鹿島灘 はまぐり	2 mm 3,000千個 5mm 50千個	2.4mm 3,267千個 5.9mm 60千個	<ul style="list-style-type: none"> ・標識手法の確立を目的とした茶色貝の種苗生産と大型種苗(5mm)の生産技術開発を行った。 ・早期育成親貝、浮遊幼生、沈着稚貝の各餌料や飼育方法については、前年度の成果を基に実施した。 ・貝殻色が茶色の親貝を用いて種苗生産した結果、茶色貝の出現は76%であった。(白色親貝からの茶色貝出現率：4%) ・大型種苗の生産は、早めの選別と低密度飼育を行った。 ・2mm種苗は8/5、8/23、9/16に、5mm種苗は8/23に県へ引き渡し、平井海岸へ放流した。

④ 種苗量産技術開発事業（マコガレイ）

県の委託を受けて、次表のとおり、マコガレイの種苗量産技術開発を行いました。

魚種名	技術開発規模 (計画)	技術開発規模 (実績)	備考
マコガレイ	30mm 170千尾	38.1mm 211千尾	○令和3年度採卵種苗 ・30mmサイズを5/18、60mmサイズを6/15に 県に引き渡し、一部に標識を付けて平井海 岸に放流した。
	60mm 30千尾	60.8mm 35千尾	
	50mm 150千尾	8.6～34.6mm 594千尾 飼育中	○令和4年度採卵種苗 ・令和5年度に県に引き渡し、放流する予 定。

⑤ 新規種苗生産基礎技術開発事業（ホシガレイ）

県の委託を受けて、次表のとおり、ホシガレイの種苗生産基礎技術開発を行いました。

魚種名	技術開発規模 (計画)	技術開発規模 (生産状況)	備考
ホシガレイ	50mm 50千尾	13.9～22.4mm 68千尾 飼育中	・岩手県から受精卵（2/7、2/10採卵、39. 8万粒）を導入して種苗生産を実施した。 ・令和5年度に県に引き渡し、放流する予 定。

⑥ 新規種苗生産基礎技術開発事業（ムラサキウニ）

県の委託を受けて、次表のとおり、ムラサキウニの種苗生産基礎技術開発を行いました。

魚種名	技術開発規模 (計画)	技術開発規模 (実績)	備考
ムラサキ ウニ	10mm 50千尾	11.2mm 79千尾	・神奈川県から5月に親ウニを購入し、市 販の乾燥コンブと展示池に繁茂したアオサ を餌とする2試験区を設けて飼育した。 ・生殖巣が発達した8月に採卵し、両試験 区とも受精卵が得られた。 ・種苗は、アオサ、キャベツ、塩蔵ワカメ を給餌して育成。3/16に県に引き渡した。

⑦ 放流指導事業

県の委託を受けて、漁業者がハマグリ移植放流の際に使用する腰カッターの改良に取り組むとともに、アワビ、ヒラメの放流時に指導・助言を行いました。

(3) 栽培漁業センター保守管理事業

県の委託を受けて、茨城県栽培漁業センターの機械設備の点検・修繕等の実施や施設内の安全確保を図るとともに、夜間・休日の警備など施設・設備の維持管理を行いました。

震災前の浸透取水方式から直接取水方式へ変わったことによる取水系統の新たなメンテナンスに適宜対応しました。

(4) 栽培漁業普及事業

茨城のつくり育てる漁業の普及啓発を図るため、次の事業を行いました。

① 展示施設の一般開放

栽培漁業に関する説明や施設の案内等の普及啓発業務を行うために専門の普及啓発指導員を配置しました。

今年度の見学者数は、学校関係を中心に4,479人(R3:2,958人)でした。

② 全国豊かな海づくり大会への参加

水産資源の維持培養と海の環境保全に対する国民の意識高揚等を図り、水産業の振興と豊かな活力に満ちた地域産業の発展に資することを目的に「第41回全国豊かな海づくり大会」が令和4年11月13日(日)に兵庫県において、天皇皇后両陛下のご臨席のもと開催されました。

本県では、当協会が事務局となり、県、市町、水産関係団体などからなる参加団を組織し、16名が参加しました。

③ 機関誌の発行等普及事業の実施

栽培漁業などつくり育てる漁業を推進するため、当協会の機関誌「茨城さいばいだより」の発行及び栽培漁業啓発用パンフレットを作成したほか、ホームページ等により当協会の活動や栽培漁業センターの施設を紹介しました。

(公社)全国豊かな海づくり推進協会発行の機関誌を関係団体に配布したほか、つくり育てる漁業の推進関係中央団体の国への要請活動等に参加しました。

茨城県漁業研究協議会及び茨城県漁業士会に助成し、その活動を支援しました。

(5) 養殖産業創出事業

① マサバ養殖技術開発試験

県の委託を受けて、マサバの養殖技術開発を行いました。

魚種名	技術開発内容	技術開発内容 (実施状況)	備考
マサバ	・親魚育成 ・採卵 ・種苗育成 ・輸送方法	・3月に釣獲(80尾)及び購入(60尾)した天然魚を餌付けして親魚を育成。また、R3年生産のF-1種苗128尾を育成。 ・水温20℃となった6月中旬に天然親魚にホルモン投与し、自然産卵法で全6回次採卵。(R3年F-1は未成熟) ・6回次合計で74万尾のふ化仔魚を飼育。全て孵化後5日程で急激に減耗。UV殺菌水飼育、照明時間調整等行ったが効果見られず。現在65尾を飼育中。 ・網生簀養殖用として、8月に2.2千尾、9月に10千尾を購入。半閉鎖(サバ棟5t 2面、12t)と流水(魚類棟70t)で育成。 ・11月に那珂湊漁港の網生簀へ10.3千尾を出荷。事前に輸送試験を行ったことで、問題なく出荷を完了。	・令和5年度採卵親魚用として、2~3月に茨城沖で釣獲した親魚235尾、購入親魚58尾、R3年生産のF-1親魚30尾を飼育中。 ・現在、5月下旬からの採卵に向けて準備中。

② 養殖業相談

県の委託を受けて、養殖参入希望者への技術相談に対応するとともに、県の要請に応じて企業誘致活動へ同行しました。

相談業務2件(養殖魚の斃死原因等)、企業誘致活動9件(県内企業への同行、栽培漁業センター視察対応等)、情報収集50件(県との打合せ・情報共有、ホルモン投与に関する情報収集、養殖関係会議への出席等)